

福岡県労連

KEN ROREN

2024
3月号
No.207

発行所 福岡県労働組合総連合
〒812-0016 福岡市博多区博多駅南
1-9-8 ケイ・アイビル2F
☎092-433-1833 FAX092-433-1822
編集発行 福岡県労働組合総連合
福岡県労連 検索 〔定価〕
1部10円

共につくる
未来

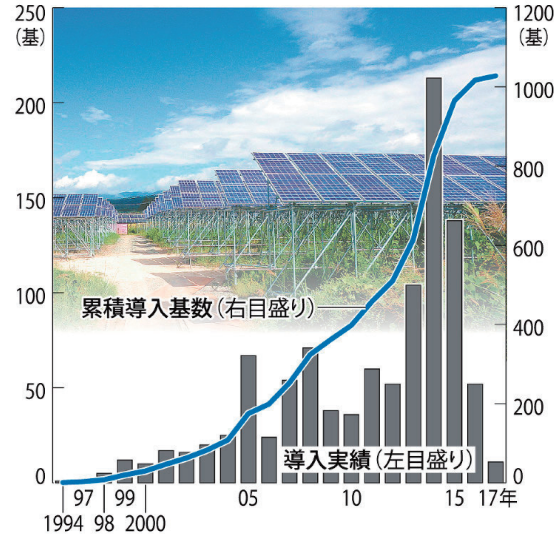
気候危機と労働運動(下)

昨年12月号では、世界の流れに逆行する岸田政権の気候危機対策と世界で広がる脱炭素運動についてご紹介しました。後編はいよいよ気候危機に対して労働組合が果たすべき役割について考えます。

脱炭素社会を目指す地域の取り組み

脱炭素社会を目指す取り組みは、まだ小さいながらも日本でも着実に広がっています。2050年二酸化炭素排出実質ゼロに取り組み「ゼロカーボンシティ」の表明をした自治体は、2023年9月時点で991自治体となっており、現在でも増え続けています。目標だけに終わらせず、実行計画があるかどうかを住民が地域の

市民・地域共同発電所の累積数と年間設置数の推移



自治体を監視して、地域共同の取り組みにすることが必要です。市民や地域コミュニティが主体となって建設・運営する再生可能エネルギー発電所である「地域共同発電所」という取り組みも広がっています。この「地域共同発電所」は市民の資金によって運営され、市民が意思決定に関わる仕組みをとっており、収益を地域に還元させるだけでなく、事業を通じて雇用を生み出し、そのことで地域

グリーン分野で投資が進む	
米国	バイデン氏が4年間で2兆規模の環境インフラ投資を掲げる
EU	2021~27年の中期予算案の3割を気候変動対策に充てる
ドイツ	6月に決めた500億ユーロの景気刺激策で環境対策を軸に
韓国	5年間で73兆4千億を投じる計画を策定

(出所) 日本貿易振興機構(ジェトロ) など

エネルギーの転換により多くの雇用が生み出されることが様々な研究で実証されています。フランス経済研究所は、再生可能エネルギー・クリーンな輸送・建設が進めば50万人の雇用が創出されるという予測を発表しています。また、諸外国では「グリーン・ニューディール」という言葉で、再生可能エネルギー分野への投資によ

り雇用創出・景気刺激を生み出す政策を行っています。ドイツではすでに再生可能エネルギー事業で2400億ドル規模の経済効果と25万人の雇用を実現しています。このことは気候変動問題への対処と持続可能な経済成長が両立することを示しています。

しかしながら市場に任せただけでは持続可能な社会への移行は達成できません。「公正な移行」をおこなうためには政府による大規模な投資が必要であり、雇用の移行策については労働者・企業、地域、自治体等の合意形成の場が必要になります。スペインの労働組合は政府・経済界と気候変動対策に関する三者(政労使)間対話の基盤をつくっています。

労働・貧困問題と環境運動とのつながり
気候変動や異常気象が最貧困層や最も弱い立場に置かれている人々に及ぼす影響に対処する社会的保護も必要です。

まずは職場企業と労使共同で「環境宣言」を発表するなどの取り組みから始めてみてはいかがでしょうか。



サイクロンにより崩壊した家屋



2月14日、福岡市役所前で公務民間一体宣伝行動を行いました。

2・14公務民間一体宣伝行動 力をあわせて要求実現しよう!

この「公務民間一体宣伝行動」は、人事院勧告は民間給与実態調査をもとにしていることから民間の労働組合が春闘時期に行っているストライキなどの賃上げのたたかいに公務職場の労働者が支援に入り、逆に公務職場の

24春闘総決起集会 団結の力で 歴史的な春闘に!



2月16日、警固公園にて春闘総決起集会が開催されました。この総決起集会は毎年、経営者団体や議会、行政機関などに1日かけて要請行動をおこなう総行動日にあわせて行い、その報告を兼ねた集会を音羽公園で行っていました。ですが今年の内輪の報告会という形ではなく、労働組合がどのような活動をしているのかを可視化してより多くの方に知ってもらうことを目的に警固公園で開催しました。

街頭からは温かい声援がかげられ、デモ行進参加者からは「楽しかった。また夜のデモ行進をやってみよう」という感想がありました。

2月16日、警固公園にて春闘総決起集会が開催されました。この総決起集会は毎年、経営者団体や議会、行政機関などに1日かけて要請行動をおこなう総行動日にあわせて行い、その報告を兼ねた集会を音羽公園で行っていました。ですが今年の内輪の報告会という形ではなく、労働組合がどのような活動をしているのかを可視化してより多くの方に知ってもらうことを目的に警固公園で開催しました。

なく本当の意味で賃上げを実感できる歴史的な春闘にしましょう」との挨拶がありました。当日は凍えるような寒さの中、日々奮闘してお疲れのところ、約100名の仲間が駆けつけてくれました。また、リレートークでは各労組の春闘の闘いぶりが力強く語られ、お互い刺激になる集会成为りました。集会後は、夜の天神をペンライトやろうそく型のライトなどで照らしながらデモ行進をしてアピールを行いました。

福岡県労連 労働学校

3つの講座とワークショップで 学びを力にかえる

福岡県労連では初の取り組みとなる「福岡県労連労働学校」が3月3日に開催され、25名が受講しました。当日は福岡県労連大会議室に午前10時に集まって、まずは同日開催で案内をしていたわくわく講座(全労連初級講座)の修了式を行いました。

労働運動のあり方確認

オリエンテーションが終わるといよいよ本講義の開始です。第1講座の講師は岡山県労働者学習協会の長久啓太さん。労働運動の歩みと世界で広がる労働運動の再構築という幅広い内容をわかりやすくお話いただきました。いまの待遇は当たり前ではない、労働組合の

歩みによって働きやすくなり、前足を踏んできた歴史の恩恵を今の労働者は受けている、成り立ちや経緯は学ばないと見えない、職業意識があっても労働者認識が欠けているとの投げかけがありました。

また、アメリカにおける公民権運動を例に挙げ、自然発生的に運動がひろがったわけではなく戦略をたてたレーニングを行った結果であることが紹介され、運動の作り方・会議の運営の仕方についてもお話いただきました。

第2講座は下関市立

対策としては賃金を引き上げ、消費税減税で中小企業を活性化させ、大企業の内部留保に課税を行うことで財源を確保して、社会保障を充実させ少子化対策・高齢化社会対策を行うことと詳細なデータをもとに明確にご説明いただきました。

第3講座は福岡城南法律事務所の西野裕貴先生。弁護士の視点から労働組合の役割についてお話いただき、一方で労働組合の組織化が難しい原因として、①たたかうというイメージ②組合費の負担③人間関係④使用者からの攻撃という4つの原因があることを指摘いただき、解決する方法としてオープンチャットを使った組織化などのアイデアをお話いただきました。

福岡県労連では初の取り組みとなる「福岡県労連労働学校」が3月3日に開催され、25名が受講しました。

当日は福岡県労連大会議室に午前10時に集まって、まずは同日開催で案内をしていたわくわく講座(全労連初級講座)の修了式を行いました。

オリエンテーションが終わるといよいよ本講義の開始です。第1講座の講師は岡山県労働者学習協会の長久啓太さん。労働運動の歩みと世界で広がる労働運動の再構築という幅広い内容をわかりやすくお話いただきました。いまの待遇は当たり前ではない、労働組合の歩みによって働きやすくなり、前足を踏んできた歴史の恩恵を今の労働者は受けている、成り立ちや経緯は学ばないと見えない、職業意識があっても労働者認識が欠けているとの投げかけがありました。



参加者の感想文

- 先輩たちのたたかいがあって今がある。変わってきたから変えられる、心強く思います。
- 今の労働条件が当然でも雇用主のおかげでもないことを知らないことと波風を立てたくないとの偽善者的価値観を変える必要があると思いました。
- アベノミクスがどういった政策なのか、税金の集め方・税金の使い方がわかりました。大企業を優遇している仕組みがおかしいのはその通りだと思いました。
- 既存の考え方から離れてどうしたら組合を広く組織していくにはといろいろ考えることができました。



対策としては賃金を引き上げ、消費税減税で中小企業を活性化させ、大企業の内部留保に課税を行うことで財源を確保して、社会保障を充実させ少子化対策・高齢化社会対策を行うことと詳細なデータをもとに明確にご説明いただきました。

第3講座は福岡城南法律事務所の西野裕貴先生。弁護士の視点から労働組合の役割についてお話いただき、一方で労働組合の組織化が難しい原因として、①たたかうというイメージ②組合費の負担③人間関係④使用者からの攻撃という4つの原因があることを指摘いただき、解決する方法としてオープンチャットを使った組織化などのアイデアをお話いただきました。

加盟組合の取り組み報告

低賃金、低単価で業界低迷 印刷産業への支援拡充要請



全印総連福岡地連

印刷関連産業は、主に二つの課題があり、一つは低賃金です。人材が集まらず事業の継続が困難な状況です。二つ目は低単価の問題です。低単価競争と仕事の効率化の為にデジタル化が進み、益々、低単価が進み現在の価格高騰を転嫁できずに企業の経営難、さらに、廃業、倒産を招いています。労働者に対しては低賃金・労働条件の低下に繋がっています。

24春闘では、①生計費に基づいた金額を要求する②春闘を通じて仲間を増やし強い組合にする③まわりの未組織、非正規労働者に全印総連を知らせるの三つを訴えています。大企業宣伝では三月十八日大日本印刷福岡工場

印刷産業は、年々、売り上げ、事業所数、労働者数が減少しています。多様な産業を育むよう国の中小企業支援拡充を求め、また公契約条例制定、入札制度改善の自治体要請にも取り組んでいます。

2024年 わくわく講座のご案内 (全労連初級教育制度)

みんなで学習 ひとりでも学習

今年も全労連「わくわく講座」を開催します。労働組合の基礎理論を体系的に学び、学習を通じて全労連運動への理解を深めましょう。そして労働組合の役割を学びましょう。一人でも多くの方の受講をお待ちしています。

●2024年3月から10月末まで募集 ●テキストを用いて学習、サポーターの援助が受けられます

2024年 3月14日(土) 4月11日(土) 5月9日(土) 6月6日(土) 7月4日(土) 8月2日(土) 8月30日(土) 9月27日(土) 10月25日(土)

スクーリングの開催 キャンペーンで学習促進

2024年 わくわく講座のご案内

申し込みお待ちしております

全労連 全国労働組合総連合

申し込みお待ちしております

申し込み用紙

氏名	役職	所属	性別
姓	名	〒	男・女
住所	電話番号	〒	その他(フリガナ)

編集後記

福岡県労連の機関紙(2024年2月号)で「労組主導で賃金上がる国への転換を」と題する評論をあらためて読みました。ヨーロッパでは法律によって「同一労働同一賃金」を定め、労働検察官が法律を執行しているという。日本(政府・財界)は正規労働者と非正規労働者、男性と女性労働者に格差をつけ、30年間賃金の上がない国にしてきた。江戸時代の分断統治の発想がいまだに続いていることに怒りを覚えます。ふと「万国の労働者、団結せよ」の言葉を思い出す。(S)